

## **CAREER INTERVIEW**

# キャリアとともに変わる役割とやりがい

#### 係員時代

#### まずは経験、仕事を通じて新しい世界を知る

ご縁があり総務庁統計局に入局し、家計収支に関する統計の集計・公表や、完全失業率等を算出する調査の企画・実施などの業務に携わりました。特別な知識はありませんでしたが、統計に関する長期の専門研修も受けられ、安心して業務に取り組めました。それまで意識していなかった統計数値を通して世の中を見ることは実に新鮮で、仕事をする中で様々な新しい世界を知ることができ、貴重な、充実した時期を過ごしました。

#### 係長時代

#### 実務を担うチームの、リーダーとしての役割

係員時代に携わった業務の多くに、係長として再び担当し、調査の実施や統計の公表を行うチームの、実務的なリーダーとして取り組みました。係員時代よりも一段重い責任に身の引き締まる思いを抱きつつも、振り返れば大きなやりがいがありました。一人ではできない多くの業務を進める上で、チームプレーの大切さを何より噛みしめた日々でした。人事交流で、他府省等の統計部門で働く機会を得たことも、良い経験でした。

#### 今、そしてこれから

#### 担当業務のマネジメント力が求められる立場

現在は、課長補佐として、昨年実施した日本最大の統計調査である国勢調査の集計・公表を担当しています。たとえ新型コロナウイルス感染症のような大きな出来事に見舞われることがあっても、我が国の基盤情報となる統計を絶やすことなく作成する必要性・重要性は、今もこれからも変わりません。平常ではない中でも使命を見失わず、担当内外に広く目配りし、円滑に着実に推進する役割が求められる立場を実感しています。



### **MESSAGE**

このパンフレットをご覧になった皆さんには、総務省の仕事が実に多岐にわたり、懐の深い職場であることがおわかりいただけたと思います。私は主に統計の仕事をしてきましたが、この一分野をとってみても美務の裾野は広く、様々な経験をしながら、個々人の適性を踏まえたキャリアを積んでいくことができる職場です。あなたにぴったりのやりがいがきっとあります。ご縁があって一緒に働けることを、楽しみにしています。